

重城康一

東京から沖縄に着任してから八ヵ月が経った。その間、「あれは何ですか」「どうしてそりなのですか」など、子供のように誰にでも聞いていたから、

と思ひながらたくさんある全国機
並びも必要だつたが同時に希少性
特異性も大事にしてほし。無形文
化財今までかなか此細などでも
それは今や価値のある「資源」なの
だから。

門中墓

沖縄ならぬJ.J.でも市街地をぶち
と外れると、本土では見慣れない物
にぶつかる。亀甲墓といふらしいが、そ
う言えば、龜がうつ伏せになつてゐる
姿に見える。もつ一つは、家の形をし
た屋敷墓。（写真＝名護市フセナテラ
スリゾート近くの国道五八号線沿い）
どちらもお墓と聞いて、つの疑問
が浮かび上がった。一つは、お寺や墓
地・靈園でもない所になぜ、墓がある
のか、もう一つは、なぜあんなに大き
いのかである。

残しておきたい 沖縄の不思議



「わらないうらしい。琉球王家の尚家は神宗だつたよつだが、普通の人に聞くと宗派はない、知らないと答える。」そうか、ここには檀家制度がないんだ。だから、めちゃや高い戒名なんてのはつけなくてよいんだ。」やつこえは、祖靈と仏教は元々は関係ない、「本土で『戦後』なんとか『条令』ができる。お墓はお寺か共同墓地に移してしまつたが、沖縄は昔のお墓はそのままでよいんだ。

きれいな砂浜

「——の間、波の上ビーチに
行きました。きれいな砂浜で
驚きました」と沖縄の人によ
うしたら、「もうときれいな海
岸は他にもありますよ。特
に離島へ行けば」と笑われ
る。昔のお墓はそのまままで
もいいんだ。」

匂いがする真っ黒な泥が出てくると思う。戦後の高度成長が、砂浜をめちゃくちゃにしたし、昔、泳いだ東京湾の海水浴場は八〇年代に埋め立てられてしまった。

沖縄の人は色は白いし、泳げない？

沖縄には上げ底アイシスはあるが、「ガン黒」の女の子は見かけない。統計をとったわけではないが、泳げない人が結構多いらしい。理由を聞くと「学校にプールがなかったから」という返事だ。「臨海水泳教室はなかった。(本土では)プールがなくとも)小学校では海辺の学校に泊まって、海で先生に無理やり泳がされるんだよ」と聞かべと、「海では泳がない」という返事が返ってきてまた驚いた。そう聞いて小学校三、四年生が、ひと夏だけ、同じく「クラス」になった金城(きよじゅ)さんと、沖縄の女の子も泳げなかったのを思って出した。

停留所以外でもバスは止まる!!
六月のころ、北谷野球場の取材の帰り、産経新聞の支局長と近くの五八号線から那覇に戻りうとした時、バスが停留所を過ぎて信号で止まっていた。タクシーは近くにいない。彼が手を挙げた。「何をしてるのか」と思ったら、バスのドアが開いた。「沖縄のバスは停留所以外でも乗せてくれるし、降りしてくれますよ」と聞いて驚いた。



「お廻に行きまじょうね」と言わ
れるとまだまだ困惑してしまひ。「一
緒に行きまじょう」と誘つてくれた」と
思つてしまつからだ。沖縄ではそうで
はなく「行きますが、いりますか」と
いう意味だ。本土なり行きますね」。
確かに文法的にはどうにも一緒に
を示す言葉は入つていなひが、本土で
はどういう訳か一緒に「と」いう意味
になつてゐる。それが普通だと思つて
いたが、この項目は本土の不思議にす
べきかもしれない。

沖縄の人は色は白いし、
匂いがする真っ黒な泥が出てくると思う。戦後の高度成長が、砂浜をめちゃくちゃにしたし、昔、泳いだ東京湾の海水浴場は八〇年代に埋め立てられてしまった。

名護西線のバスに乗りて恩納村の
「××ホテルに行きますか」と運転手さ
んに聞くと、「バス停から遠いから近
くで降りてしまつね」との返事。バス
停とバス停の間の五八号線沿いのホ
テルの前で止めてくれた。